

氏名 (ふりがな)	西村 直道 (にしむら なおみち)
所属・職位	保健福祉学部栄養学科・教授
最終学歴	北海道大学大学院農学研究科修士課程修了
学位	博士 (農学) (北海道大学)
免許・資格	
連絡先	TEL:01654-2-4194(2306) FAX: 01654-3-3354 E-mail: nishimura@nayoro.ac.jp (メールを送る際には.jpg を.jp に変更して下さい) URL: http://www11.ocn.ne.jp/~nutrbio/ 研究室所在地: 恵陵館 3階

専門分野	栄養化学, 栄養生化学
主な担当科目	栄養学科: 基礎栄養学, 生化学 I, 生化学 II, 基礎栄養学実験, 卒業研究 看護学科: 生化学
主な研究テーマ	1. 食事導入期の栄養制御による大腸内環境の最適化 2. 大腸内 H <sub>2</sub> 生成の制御とその酸化障害抑制能による生活習慣病予防
研究キーワード	大腸内発酵, 食物繊維, 水素, 酪酸, 腸内細菌, ルミナコイド
主な著書・論文 (最近 5 年間)	1. <u>Nishimura N</u> , Tanabe H, Sasaki Y, Makita Y, Ohata M, Yokoyama S, Asano M, Yamamoto T, Kiriya S. Pectin and high amylose cornstarch increase caecal hydrogen production and relieve hepatic ischemia-reperfusion injury in rats. Br J Nutr (in press) 2. 西村直道. ルミナコイド研究のフロンティア—食物繊維・オリゴ糖・レジスタントスターチの最新研究動向—. 第 7 章大腸発酵由来の H <sub>2</sub> ガスの酸化障害抑制. 133-150. 建帛社 2010 3. <u>Nishimura N</u> , Yamamoto T, Ota T. Taurine feeding inhibits bile acid absorption from the ileum in rats fed a high cholesterol and high fat diet, Adv Exp Med Biol. 2009;643:285-291 4. Tamura A, Mita Y, Shigematsu N, Hara H, <u>Nishimura N</u> . Different effect of difructose anhydride III (DFAIII) on caecal microbiota as compared to inulin-type fructans in rats, Arch Anim Nutr. 2006;60:358-364
外部獲得資金 (最近 5 年間)	1. 平成 21-25 年度イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム都市エリア型 (発展) (文部科学省), 食の機能性・安全性に関する高度な技術開発とその事業化によるアグリ・バイオクラスターの形成—十勝エリア, 共同研究者 2. 平成 21-23 年度科学研究費補助金基盤研究 C (日本学術振興会), 食事導入期のタンパク質栄養の制御による正常な大腸内環境の構築, 研究代表者 3. 平成 20-21 年度地域イノベーション創出研究開発事業 (経済産業省), 新乾燥技術による高機能な名産アスパラガス調製残渣粉末の開発, 共同研究者
学会活動	1. 日本栄養・食糧学会正会員 2. 日本農芸化学会正会員 3. 日本食物繊維学会評議員
社会貢献	<講演など> 大腸内発酵制御を軸とした栄養学の萌芽を目指して, 平成 22 年度北海道栄養士会研究教育協議会研修会 (2011 年 1 月, 札幌) 高コレステロール血症の改善に対する胆汁酸排泄促進の重要性, 第 13 回 Hindgut Club Japan シンポジウム (2007 年 12 月, 東京)
受賞	平成 19 年度日本栄養・食糧学会奨励賞 (2007 年 5 月)

コメント	これまで発想されてこなかった栄養学の新しい概念を最北の公立大学から発信できるよう、学生とともに研究しています。最新の内容を授業にも活かしながら、教育にも力を入れています。
------	---